



形 形埜パンフレット 平成28年度版

作成 岡崎市立形埜小学校 平成28年度卒業生

HPアドレス <http://www.oklab.ed.jp/weblog/katano/>



ぼくたちの通う形埜小学校は岡崎市の北東部に位置するへき地小規模校です。豊かな自然に恵まれ、また地域の人々の熱い思いに支えられ、特色ある学習をしています。例えば、伝統の心を育てるFBC(フラワーブラボーコンクール)花壇づくり活動、乙川の水質調査・保全活動、「かたのササユリの里育成会」の方と共に山里に咲くササユリの調査保護活動などで、それらを長年、継続して行っています。また、「木の芽学習」(生活科・総合的な学習の時間)では、本物との出会いを大切に、体験を通して学習しています。ぼくたちは、6年間の木の芽学習のまとめとして、ふるさと形埜の素晴らしさを広く伝えるために、『形埜パンフレット』を作りました。このパンフレットを見ていただければ、形埜学区の様々な場所やぼくたちが行った木の芽学習のことがわかります。このパンフレットを通して、形埜学区のことをより多く知ってもらえればうれしいです。



至国道1号線・岡崎IC



ぼくたちが6年間で取り組んだ木の芽学習

1年生 「カブトムシは大切な友達」
 2年生からカブトムシの幼虫をゆずり受けて育てました。しかし、飼育ケースからキノコが生えたり、幼虫が死んでしまったりしました。そこで、学区のカブトムシ博士から世話の仕方を教えてもらいました。夏休みも一生懸命に世話をし、さなぎ、成虫と育てることができました。カブトムシに名前を付けるくらい親しみがわき、命の大切さを学べました。そして、無事に新たな命である卵が産まれ、次の学年に引き継ぐことができました。

2年生 「おじいちゃんおばあちゃんはぼくらの先生」
 祖父母と協力し合って作ったうねに、自分が決めた野菜の苗を植えました。わき芽をつんだり、肥料をまいたりするなど、世話の仕方も教えてもらいました。また、虫食いを防ぐ方法を地域の方に教えてもらいました。そのおかげで、野菜を育てることができました。
「命を学ぶ 子牛の飼育体験」
 2週間、片岡牧場から子牛を預かり、飼育体験をしました。事前に1日、牛の飼育修行をしたけれど、始めはとても緊張しました。散歩やえさやり、ふんの掃除など、とても大変でした。改めて命の尊さを学ぶことができました。

3年生 「形埜の宝 ヤママユガの飼育観察」
 4年生からヤマユガの卵を引継ぎ、飼育を始めました。その後幼虫が生まれ、水さし飼育(クヌギの枝葉を切ったものをピンにさし、飼育ケースで飼う)で育てました。成虫に成長したので、安曇野市天蚕センターから産卵かごを頂き、オスとメスを入れて、産卵を試みました。後日、ヤマユガは卵を産みましたが、羽がボロボロで元気がありませんでした。新しい命を生み出すには、命をかける必要なのかなと気が分りました。

それぞれの場所の説明は裏面に掲載

4～6年生は裏面に掲載

① 阿弥陀寺

1394年、仏教(浄土宗)を広めるために建てられた寺。毎月、亡くなった人を供養する行事がある。その中でも4月にある弘法会は、阿弥陀寺の裏山にある88の地蔵をお参りする行事で、山頂の小屋でくじを引き、商品と交換することができ、多くの人が参加している。



② 乙川

木の芽学習でアユの放流活動をしたり、生き物の生態調査をしたりするなどして、乙川の環境学習を行っている。アブラハヤやカワムツ、ヨシノボリなど多くの生き物が見られるが、天然記念物のネコギギも生息している。ネコギギの特徴は体に黄色のはんてんがあり、ひげが8本生えている。名前の由来は、頭がネコに似ていること。「ギューギュー」と鳴く。



④ 日近の里(日近城址・広祥院)

日近の里には、日近城址や広祥院などがある。日近城は1478年に奥平貞昌が建てた山城。徳川家康の開東移封にともない廃城となった。広祥院は1339年に足利尊氏の命令で高師氏が建てた。



⑤ 細野霊水

別名は桜形田之神薬師如来。明治時代の初め、田んぼの水が絶えないよう、田の神をまつっていた。今では湧き水スポットとして、平日でも多くの人を訪れる。水をくみ終えると、水のお礼に薬師如来のほこらに感謝している。



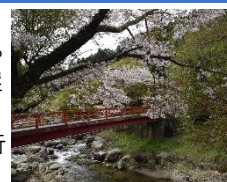
⑦ 殉国戦士之碑

昭和16年から20年の日本とアメリカの戦争で亡くなった兵隊の墓。墓は昭和28年1月に作られた。亡くなった人を供養する慰霊祭が10月ごろある。墓には、「至誠」と刻まれていて、意味は「この上なく誠実なこと。また、その心」。



⑧ かおれ渓谷

四季が楽しめる自然スポット。岡崎観光きりり百選にも選定されている。(岡崎きりり百選とは、岡崎市における観光資源の選定集のこと。)野外ステージもあり、毎年8月第4土曜日には太鼓フェスティバルが行われる。



⑩ 東照宮旧跡地

徳川家康が若いころ鷹狩りに訪れ、その縁で東照宮が建てられた。今は、南大須神明宮に合祀されている。



⑪ 南大須ササユリの里

形埜学区の中にササユリ群生地は14か所あるが、その中でも一番多くのササユリが見られるのは、南大須ササユリ群生地。ササユリの見頃は、6月ぐらい。遠くから見ると星みたいできれい。



⑫ 額田ゴルフ倶楽部

昭和49年6月に開場した、全36ホールのゴルフ場。練習場もあり、打ちっぱなしやパターなどの練習ができる。ゴルフ場の周りは自然が多くあるため、池ではカモが泳ぐこともあるし、イノシシやシカなどの動物を見ることもある。



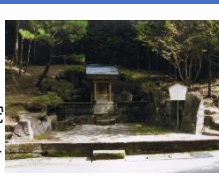
⑬ 切山の大スギ

樹齢約1000年のアシウスギの仲間。昔、白髪の老翁が地面に杉の杖を逆さに挿して立ち去り、その杖が成長したという伝説がある。1968年に県の天然記念物に指定されている。



⑭ 弁財天

1778年、天災や病気などから人々を守るために建てられた。弁財天の使者である白蛇が大岩にいたと言われている。



4年生

「ふるさと乙川を守り隊 出動！」

乙川に生息する生き物や環境を調査しました。乙川には様々な魚たちがいて、それらを学校で飼育しました。また碧南海浜水族館で、学区に流れる乙川には国の天然記念物のネコギギが生息することや、魚の飼育方法を学びました。さらに乙川を守るため、ごみを捨てないように呼びかける看板や水の浄化作用のある竹炭を設置しました。乙川に関心を持ち、水質保全活動に努めることができました。

5年生

「ふるさと形埜の森を守る」

木の駅プロジェクト実行委員会を招いて、森の間伐について話を聞きました。学区にはたくさんの山や森があり、間伐されていない森林が多くあります。間伐をすることで、木の根に日光が当たり、丈夫でよりよい木が育ちます。また、その木の根が土砂崩れなどの自然災害を防ぎます。実際に間伐体験し、形埜の森を守るためにはとても大切なことだと知ることができました。

6年生

「ふるさとを守れ！ぼくたちの形埜」

週に2回、乙川の水質調査活動に取り組んでいます。調査は、透視度・導電率・CODの3項目で検査しています。この調査結果を過去の結果と比較することで、乙川の自然が守られているか分かります。また、環境問題に関心をもってもらえるよう、さらにこれまでの木の芽学習で分かったことを、学芸会や他校との交流会、ユネスコスクール交流会などで、多くの人に伝える活動を行っています。